

！閉ざされていた現実には理論を越える！
精神医療ユーザーが自ら不透明な生活の扉を開いた
“当事者による当事者のためのQOL向上に向けての調査研究”

精神医療ユーザー・アンケート

「ユーザー1000人の現状・声」

調査研究報告書

精神医療ユーザー自身が精神医療ユーザーの目線でニーズ調査報告書を発

！好評発売中！

精神医療ユーザー・アンケート

「ユーザー1000人の現状・声」

調査研究報告書

A4判 281頁 / 3000円

〔編集・発行〕問合せ先・電話0948(25)8939

精神障害者九州ネットワーク 調査研究委員会

「全国の精神医療ユーザー1000人の生の声を集約」

「私たちは結婚も子育てもしている。

社会では私たちの現実の生活は知られていなかった。

私たちが精神病や精神障害者と一言で片付けしないでください・・・」

【可能性の多面的追求】

精神障害者九州ネットワーク調査研究委員会では、精神医療ユーザー（当事者）の生の声を集約し、その思い、生活ニーズを広く周知し、精神医療、ならびに保健・福祉サービスを、当事者を主体としたものへと転換していくきっかけづくりを目的に、平成十六年度に精神医療ユーザー・アンケート調査を行いました。これは、本邦初の“当事者の当事者による当事者のための調査”です。

調査では、「結婚・子育て」「薬」「医療機関・施設等」「就労」「手帳・当事者会」などについて尋ねています。調査結果は、精神医療ユーザー・アンケート報告書「ユーザー1000人の現状・声」を御参照ください

調査研究委員より

【調査の概要】

実施時期：二〇〇四年九月三日～十一月三十日

調査方法：集合調査 全国の患者会・当事者会への郵送調査

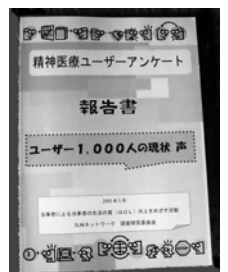
調査対象：精神医療ユーザー 配票数：2500票

回答数：回答者は1,010人（回収率40.4%）

【記述式回答も原文に忠実に編集】

「当事者は自分の意見や考えもっていた。無知による偏見・偏見を変えませんが、事実はその本人の声から見えてくる。」報告書の約半分のページはその声を再現。

今までに知らなかった生のニーズ調査研究



< 調査報告書概要 > 第一章 調査目的・体制・方法、調査研究会の経過 第二章 調査結果と考察 回答者の属性等
1. 結婚・子育て・記述回答：恋愛・結婚・子育て等についての日頃思っていることや意見 2. 薬について ・記述回答：薬や注射について 3. 医療機関・施設等 ・記述回答：入院中の経験、病院職員の対応で一番傷ついた対応 記述回答：施設等利用中の経験、職員の対応で一番傷ついた対応 4. 就労等 5. 福祉サービス・手帳・権利擁護等 記述回答：国に対し ・記述回答：医療機関や施設・作業所・家族会などに対して ・記述回答：専門職の方や精神保健福祉を教える教員などに対して ・記述回答：医療機関・施設・就労・福祉サービス・手帳・権利擁護について ・資料アンケート用紙 計68問